

大阪市立心和中学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は令和 6 年 4 月に開校した昼間部・夜間部の二部制をしく中学校である。とりわけ、昼間部は文部科学省の認可を受けた「学びの多様化学校」であり、転入してくる生徒は全員不登校を経験している。

開校して 3 年目になるが、これまでの 2 年間、既存の中学校とはまったく違ったシステムや施設であり、授業や行事を進めながら、教育の在り方を模索しながら進めてきた。

まずは昼間部であるが、不登校を経験した生徒にとって学校に来ることが第一歩となるため制服や校則を定めずに、授業への参加も各自の選択に任せてきた。3 年目である今年度はさらに議論を重ね、中期的な見通しにたった方向性を定め、学校運営を進めていく必要がある。

次に夜間部であるが、昨年度は一昨年度と比較して登校率が上がり、ほぼ毎日登校する生徒が数多くいたことは大きな成果である。近畿夜間中学校連合会の行事についても参加する生徒が増え、活気ある学校としての機運が高まってきている。

また、昼間部と夜間部の交流については、合同授業やスポーツフェスタなどを共に取り組んできたが、その在り方を見直し、お互いの頑張りを認め合いさらなる成長につながるような交流になるよう進めていきたい。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

校内アンケートにおいて、「学校に行くのは楽しい」と答える生徒の割合を昼間部・夜間部ともに 90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

校内アンケートにおいて「毎日、同じぐらいの時刻に寝て、同じぐらいの時刻に起きていますか」の問いに対して、肯定的に回答する生徒の割合を昼間部・夜間部ともに 80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

教育 D X の考えのもと、教育の質を向上するために端末を使った校務支援システムの改革が進んでいると感じている教職員の割合を 100%にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

38 2 学期末の校内調査における、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を昼間部・夜間部ともに 80→**90%**（昨年度：昼間部 87%、夜間部 100%）以上にする。

46 昼間部生徒に対する 2 学期末の校内調査における「自分には、よいところがありますか」に対して肯定的な回答をする生徒の割合を 75%（昨年度 70%）以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

59 2 学期末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、**肯定的な**回答をする生徒の割合を **60%**（昨年度：昼間部 52%・夜間部 84%）以上にする。

64 2 学期末の校内調査における、「毎日、同じぐらいの時刻に寝て、同じぐらいの時刻に起きていますか」の問いに対して肯定的に回答する生徒の割合を昼間部・夜間部ともに 70→**80%**（昨年度：昼間部 90%夜間部 76%）以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

70 2 学期末の校内調査における「インターネットや生成 AI、SNS を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないように注意したりしていますか」の問いに対して、肯定的な回答をする生徒の割合を昼間部・夜間部ともに 80%以上にする。

71 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 30 時間以下にする。

73 昼間部生徒に年度末の校内調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答をする生徒の割合を 80→**70%**（昨年度 67%）以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

大阪市立心和中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 38 2学期末の校内調査における、「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して肯定的に回答する生徒の割合を昼間部・夜間部ともに 80→90%（昨年度：昼間部 87%、夜間部 100%）以上にする。 46 昼間部生徒に対する2学期末の校内調査における「自分には、よいところがありますか」に対して肯定的な回答をする生徒の割合を 75%（昨年度 70%）以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】 1-2 不登校への対応 個別最適な学びと多様な学習の機会の場の創出 ----- 指標 校内生徒アンケートを2回実施する	
取組内容②【2 豊かな心の育成】 2-2 キャリア教育の充実 一人ひとりの実態やニーズに合わせたキャリア教育の実施 ----- 指標 一人1回は職場体験学習、職場見学、職業講話を体験する	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立心和中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 59 2学期末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的な回答をする生徒の割合を 60%（昨年度：昼間部 52%・夜間部 84%） 以上にする。 64 2学期末の校内調査における、「毎日、同じぐらいの時刻に寝て、同じぐらいの時刻に起きていますか」の問いに対して肯定的に回答する生徒の割合を昼間部・夜間部ともに 70→80%（昨年度：昼間部 90%夜間部 76%） 以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】 4-2 「主体的・対話的で深い学び」の推進 5 教科の授業における習熟度別少人数授業とセルフクエストを活用した学び直し 指標 校内生徒アンケートを2回実施する。	
取組内容②【5 健やかな体の育成】 5-2 健康教育・食育の推進 学級活動や各種通信を通して生活リズムを整える取組の推進 食育通信などを活用した食育の推進 指標 集会や授業の中で自らの生活を振り返る機会を月1回は設定する	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

大阪市立心和中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 70 2学期末の校内調査における「インターネットや生成AI、SNSを活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないように注意したりしていますか」の問いに対して、肯定的な回答をする生徒の割合を昼間部・夜間部ともに80%以上にする。 71 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月30時間以下にする。 73 昼間部生徒に年度末の校内調査における「読書は好きですか」に対して肯定的に回答をする生徒の割合を80→70%（昨年度67%）以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗状況
取組内容①【6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 6-1 ICTを活用した教育の推進 教科会を不定期に設定するとともに教員研修を充実させ、学習者用端末の活用を促進する。 指標 教科会、ICT研修を月2回以上設定する	
取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 7-1 働き方改革の推進 ICT教育担当を中心に業務がスムーズに遂行するように工夫する。 指標 教職員アンケートを2回実施する。	
取組内容③【8 生涯学習の支援】 8-3 学校図書館の活性化 生徒のニーズによる図書を充実させ、様々な教科・領域で図書館の活用を昼間部・夜間部ともに促進する。 指標 授業等による学校図書館の利用回数を週1回以上にする。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	